

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者支援施設  
事業所名（施設名） 第二明星学園

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者で話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組を通じて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組については、10年構想～明星グランドデザイン～の中のあらゆるところから真剣に取り組もうという思いが確認できました。</p> <p>○また基本理念の中に「自己決定」を尊重した意思決定支援に努めますと記載され、基本姿勢の中では、ア相談・傾聴・対等・肯定の姿勢を忘れないこと。イ障がい者の通訳者であることを忘れないことと明記されていました。</p> <p>○実際に職員は、コミュニケーションカードを常に所持したり、自己決定に向けた支援の確認ができました。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。</li> <li>■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li>■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li>□ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li>■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	<p>○利用者の権利侵害の防止等に関する取り組みについては、定期的開催されている人権委員会、虐待防止委員会において検討されていました。また虐待チェックリストによる調査も実施したりし取り組んでいました。</p> <p>○権利侵害防止の内容を、職員全体が共有できる取り組みが望まれます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	■ 13	利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。	○利用者の自律・自立生活のための支援については、アセスメントで利用者の心身の状況等を把握し支援につなげていました。  ○利用者が自力で行う入浴や排泄等は見守りの姿勢を基本とし、必要な場合は支援していました。
				■ 14	利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。	
				■ 15	自律・自立生活のための動機づけを行っている。	
		■ 16		生活の自己管理ができるように支援している。		
		■ 17		行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。		
		② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	■ 18	利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。	○利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援については、活動の中に音楽療法や動作法等を導入し、利用者のエンパワメントを高め、生活意欲の向上に向けた取り組みがなされていました。  ○また、個々の利用者の特性に応じたコミュニケーションの手段を開発したり、コミュニケーション能力を高めるための支援を行っていました。
				■ 19	コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。	
				■ 20	意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。	
				■ 21	利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。	
③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	■ 22	必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。	○利用者の意思を尊重する支援については、法人の【憲章】の中に「意思決定支援」を実践すると掲げ、【行動基準】に「どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。」と明示されていました。  ○また職員は普段、「何気ないかわりの中から、利用者の思いを汲むかわり」にこころがけていました。		
		■ 23	利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。			
		■ 24	利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。			
		■ 25	利用者の意思決定の支援を適切に行っている。			
		■ 26	相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。			
■ 27	相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。					

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。</li> <li>■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</li> <li>■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</li> <li>■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</li> <li>■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</li> <li>■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○支援計画にもとづく日中活動については、個別支援計画は各担当がアセスメントにもとづき作成し、会議でその内容を検討・共有し支援へとつなげていました。</p> <p>○日々の活動については、利用者の希望やニーズにより選択できる旅行や、療育(学園以外の専門職のよる)、イベント等、日中活動の多様化が図られていました。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</li> <li>■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がい個別的かつ適切な対応を行っている。</li> <li>■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</li> <li>■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の障がいの状況に応じた適切な支援については、抱っこ法やTEACCHプログラム、動作法等を活動に導入していました。</p> <p>○また、食事のメニューや出勤職員を、写真で理解できるよう可視化し掲示されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</li> <li>■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</li> <li>■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</li> <li>■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</li> <li>■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</li> </ul>	<p>○個別支援計画にもとづく日常的な生活支援については、入浴、排せつ等の支援マニュアルが整備され、利用者の心身の状況に応じた支援をしていました。</p> <p>○食生活においては、食事中の観察やアンケート調査等から食事に対する要望を収集していました。</p> <p>○また利用者の特性に応じ、食事の時間をずらしたり、苦手なメニューに対して他の物を提供したりと、利用者に寄り添った支援がなされていました。</p>
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。</li> <li>■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境については、加湿器使用マニュアルを整備し、冬季に暖房を使用する際、同時に加湿器を使用することとし、風邪等を患った利用者がある場合は、居室に設置し使用することとなっていました。</p> <p>○重症事故発生の対応については、マニュアルが整備され連絡等がスムーズに行く体制が確保されていました。</p> <p>○なお重症事故発生マニュアルは、その存在を知らない職員もおりました。定期的に説明する機会を確保し周知することを望みます。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</li> <li>□ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</li> <li>■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>□ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練の支援については、外部講師を導入し、音楽療法・動作法・理学療法士・言語治療士・アート活動等を導入し、情緒の安定を図ったり機能向上及び生活向上の支援をしていました。</p> <p>○引き続き、生活の質の向上を図るための、機能および生活向上に向けた支援に努めて頂きたい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	(5)	健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>□ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の健康状態の把握と体調変化時には、毎月囁託医の往診があり、年1回利用者集団検診、定期歯科検診、歯磨き指導等が実施されていました。</p> <p>○また毎朝、利用者の顔色や排泄、食事摂食量等の確認を行い健康状態の把握につとめると共に、朝会で健康に関する情報を共有していました。</p> <p>○障がい者の健康管理等についての、職員研修の実施が望まれます。</p>
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にしている。</li> <li>■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</li> <li>■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>□ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○医療的な支援については、医療除外行為マニュアル、常備薬管理マニュアル等を作成し適切にかつ安全に行われる体制が確認できました。</p> <p>○なお、誤薬についての項目は確認できませんでした。</p> <p>○医療的な支援の実施についての考え方(方針)等を知らない・わからないと回答している職員が多くいました。定期的上記マニュアルにそっての研修や、医療的な支援に関する職員研修の実施が望まれます。</p>
	(6)	社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</li> <li>■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習の支援については、利用者旅行が計画されており、小グループ制で行き先を利用者が決め年8回程(グループによっては13回)実施されていました。</p> <p>○また、利用者外出では、花見ドライブ、新緑ドライブ、秋の遠足などが計画され実施されていました。</p> <p>○地域交流として、ボランティアを受け入れたり、中学校、高校等との交流会や地域のイベントにも積極的に参加されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>□ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>□ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>□ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>○利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援については、10年構想～明星グランドデザイン～第2構想の実現に向けて取り組み対策Ⅱの方策、方針に・明星学園・第二明星学園の利用者や地域の方々から、地域移行を希望される方に、個々に対応した地域移行のための支援を行います。Ⅰ期は現行グループホーム入居者と学園からの新入所者、Ⅱ期は現行入居者と地域ニーズ（重度対応を視野に入れる）との構想が描かれていました。</p> <p>○地域生活への移行や地域生活のための支援については、職員全体が共有できる取り組みが望まれます。</p>
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の家族との連携・交流と家族支援については、家族会が組織されて各組みごとに実施される家族会食会、夏・冬・春の家族懇親会等が実施されていました。</p> <p>○また、機関紙「ブリズム」を年2回発行し、保護者へ配布したり、ホームページにて学園の様子をいつでも確認できる体制を整えていました。</p> <p>○会員が高齢化してきているので、今後の会のあり方の検討が望まれます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/> 80 b) <input type="checkbox"/> 81 c) <input type="checkbox"/> 82 <input type="checkbox"/> 83	子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	非該当
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/> 84 b) <input type="checkbox"/> 85 c) <input type="checkbox"/> 86 <input type="checkbox"/> 87 <input type="checkbox"/> 88 <input type="checkbox"/> 89	利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	非該当
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a) <input type="checkbox"/> 90 b) <input type="checkbox"/> 91 c) <input type="checkbox"/> 92 <input type="checkbox"/> 93 <input type="checkbox"/> 94 <input type="checkbox"/> 95	利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	非該当

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a) <input type="checkbox"/> b) <input type="checkbox"/> c) <input type="checkbox"/>	96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	非該当